



安全データシート

Copyright, 2022, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	16-3924-4	版	2.00
発行日	2022/05/10	前発行日	2021/03/10

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

シンフォニー™ オペーカーパウダー

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	歯科用製品事業部
電話番号	042-770-3725

2. 危険有害性の要約

GHS分類

有機過酸化物： タイプD
皮膚感作性： 区分1
発がん性： 区分2
水生環境有害性 短期（急性）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語
危険

シンボル

炎 感嘆符 健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H242	熱すると火災のおそれ
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H351	発がんのおそれの疑い
H402	水生生物に有害

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースをとること。
P234A	他の容器に移し替えないこと。
P235	涼しいところに置くこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280B	保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。

保管

P410	日光から遮断すること。
P403	換気の良い場所で保管すること。
P411	5℃以下の温度で保管すること。
P405	施錠して保管すること。
P420A	別々に保管する。

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
シラン処理石英	100402-78-6	40 - 50
フッ化カルシウム	7789-75-5	15 - 30
酸化チタン(IV)	13463-67-7	20 - 30
イソブチルマロニル-N,N'-ジシクロヘ	117204-17-8	1.0 - 5.0

キシルスルファミド		
ラウロイルパーオキシド	105-74-8	1.0 - 5.0
C. I. ピグメントイエロー 4 2	51274-00-1	< 2.0
水酸化鉄	20344-49-4	< 2.0
シラン処理シリカ	68909-20-6	< 2.0

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素

条件

燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。 禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気ですその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。 漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 密閉容器に収納する。 残さを清掃する。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。 禁煙。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 眼に入れない。 指定された個人保護具を使用する。 皮膚に付着した場合は、石鹼と水で皮膚を洗う。 製品が手袋に接触した場合は、手袋を取り外して廃棄し、すぐに石鹼と水で手を洗ってから、再度手袋を着用する。

保管

日光から遮断すること。 5℃以下の温度で保管する。 涼しいところに置くこと。 他の容器に移し替えないこと。 他の物質から離して保管すること。 衣類、燃焼性のある物質から遠ざける。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	TWA : 10 mg/m ³	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間) : 4 mg/m ³ ; TWA(吸入性粉じんとして)(8時間) : 1 mg/m ³ ; TWA(8時間) : 0.3mg/m ³	2B : ヒトに対して発がん性の可能性がある。
フッ化物	7789-75-5	ACGIH	TWA (フッ素として) : 2.5mg/m ³	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL：労働安全衛生法作業環境評価基準
 JSOH OELs：日本産業衛生学会許容濃度
 TWA：時間加重平均値
 STEL：短時間ばく露限界値
 CEIL：天井値

ばく露防止策

設備対策

よく換気されたエリアで使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。
 サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

皮膚の保護についてはセクション7を参照。

呼吸用保護具

特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态：	微粉末（ $<10\mu\text{m}$ ）
色	黄色
臭い	特異的な臭い
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	適用しない
引火点	引火点 $>93^{\circ}\text{C}$
蒸発速度	適用しない
引火性（固体、ガス）	有機過酸化物：タイプD
燃焼点（下限）	適用しない
燃焼点（上限）	適用しない
蒸気圧	適用しない
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない
密度	データはない。
比重	0.95 - 1.05 [参照基準：水=1]
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	適用しない
分解温度	データはない。

粘度/動粘度	適用しない
揮発性有機化合物	適用しない
揮発分	適用しない
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	適用しない
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

機械的な眼刺激：疼痛、発赤、流涙、角膜創傷などの症状。

皮膚に付着した場合

機械的な皮膚刺激： 創傷、発赤、疼痛、かゆみなどの症状。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

吸入した場合

吸入すると有害のおそれ 気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

体内に蓄積する可能性がある。

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション 3 に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無い、分類するのに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－粉塵/ミスト(4 時間)		データ無し：計算された急性毒性推定値 >5 - =12.5 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
シラン処理石英	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
シラン処理石英	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
シラン処理石英	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
フッ化カルシウム	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
フッ化カルシウム	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.07 mg/l
フッ化カルシウム	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
ラウロイルパーオキシド	皮膚		推定値> 5,000 mg/kg
ラウロイルパーオキシド	吸入－粉塵/ミスト		推定値> 12.5 mg/l
ラウロイルパーオキシド	経口摂取		推定値> 5,000 mg/kg
イソプチルマロニル-N,N'-ジシクロヘキシルスルファミド	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値> 5,000 mg/kg

イソブチルマロニル-N,N'-ジシクロヘキシルスルファミド	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
C. I. ピグメントイエロー 42	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
水酸化鉄	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
C. I. ピグメントイエロー 42	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
水酸化鉄	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
シラン処理シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
シラン処理シリカ	吸入-粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
シラン処理シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
シラン処理石英	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン (IV)	ウサギ	刺激性なし
イソブチルマロニル-N,N'-ジシクロヘキシルスルファミド	ウサギ	刺激性なし
C. I. ピグメントイエロー 42	ウサギ	刺激性なし
水酸化鉄	ウサギ	刺激性なし
シラン処理シリカ	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
シラン処理石英	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン (IV)	ウサギ	刺激性なし
イソブチルマロニル-N,N'-ジシクロヘキシルスルファミド	ウサギ	刺激性なし
C. I. ピグメントイエロー 42	ウサギ	刺激性なし
水酸化鉄	ウサギ	刺激性なし
シラン処理シリカ	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
シラン処理石英	ヒト及び動物	区分に該当しない。
酸化チタン (IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。
イソブチルマロニル-N,N'-ジシクロヘキシルスルファミド	モルモット	区分に該当しない。
ラウロイルパーオキシド	モルモット	感作性あり
C. I. ピグメントイエロー 42	ヒト及び動物	区分に該当しない。
水酸化鉄	ヒト及び動物	区分に該当しない。
シラン処理シリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無

い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
シラン処理石英	In vitro	変異原性なし
酸化チタン (IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン (IV)	In vivo	変異原性なし
イソプチルマロニル-N,N'-ジシクロヘキシルスルファミド	In vitro	変異原性なし
シラン処理シリカ	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
シラン処理石英	特段の規定はない。		陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化チタン (IV)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン (IV)	吸入した場合	ラット	発がん性
C. I. ピグメントイエロー 4 2	吸入した場合	ラット	発がん性なし
水酸化鉄	吸入した場合	ラット	発がん性なし
シラン処理シリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シラン処理石英	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
シラン処理石英	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
シラン処理石英	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期
シラン処理シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
シラン処理シリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
シラン処理シリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シラン処理石英	吸入した場合	呼吸器系 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
C. I. ピグメントイエロー 42	吸入した場合	呼吸器系 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.2 mg/l	14 日
水酸化鉄	吸入した場合	呼吸器系 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.2 mg/l	14 日
シラン処理シリカ	吸入した場合	呼吸器系 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本 SDS の 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS 水生環境有害性（急性）区分 3：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS 分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
シラン処理石英	100402-78-6		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			該当なし
フッ化カルシウム	7789-75-5	緑藻類	推定値	96 時間	EC50	88 mg/l
フッ化カルシウム	7789-75-5	無脊椎動物	推定値	96 時間	EC50	53 mg/l
フッ化カルシウム	7789-75-5	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	221 mg/l
フッ化カルシウム	7789-75-5	ニジマス	推定値	21 日	NOEC	4 mg/l
フッ化カルシウム	7789-75-5	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	29 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l
イソブチルマロニル-N,N'-	117204-17-8		分類にデータが利			該当なし

シンフォニー™ オペーカークパウダー

ジシクロヘキシルスルファミド			用できない、あるいは不足している。			
ラウロイルパーオキシド	105-74-8	液状化	実験	30 分	EC50	>1,000 mg/l
ラウロイルパーオキシド	105-74-8	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
ラウロイルパーオキシド	105-74-8	グッピー	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
ラウロイルパーオキシド	105-74-8	緑藻類	実験	72 時間	EC10	100 mg/l
C. I. ピグメントイエロー 42	51274-00-1	液状化	推定値	3 時間	EC50	>=10,000 mg/l
C. I. ピグメントイエロー 42	51274-00-1	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
C. I. ピグメントイエロー 42	51274-00-1	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
水酸化鉄	20344-49-4	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
水酸化鉄	20344-49-4	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
水酸化鉄	20344-49-4	ゼブラフィッシュ	類似コンパウンド	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
水酸化鉄	20344-49-4	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
水酸化鉄	20344-49-4	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
水酸化鉄	20344-49-4	液状化	類似コンパウンド	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
シラン処理シリカ	68909-20-6	藻類または他の水生植物	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
シラン処理石英	100402-78-6	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フッ化カルシウム	7789-75-5	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン(IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
イソブチルマロニル-N,N'-ジシクロヘキシルスルファミド	117204-17-8	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	40 重量%	OECD 301C-MITI (1)
ラウロイルパーオキシド	105-74-8	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	80 %BOD/ThBOD	OECD 301D - クローズドボトル法
C. I. ピグメントイエロー 42	51274-00-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
水酸化鉄	20344-49-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
シラン処理シリカ	68909-20-6	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
シラン処理石英	100402-78-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フッ化カルシウム	7789-75-5	分類にデータが	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

		利用できない、 あるいは不足し ている。				
酸化チタン(IV)	13463-67-7	実験 BCF-鯉	42 日	生物濃縮係数	9.6	非標準的な手法
イソブチルマロニル-N,N'-ジシクロヘキシルスルファミド	117204-17-8	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	1900	推定値：生態濃縮係数
ラウロイルパーオキシド	105-74-8	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	7.4	推定値：生態濃縮係数
C. I. ピグメントイエロー 42	51274-00-1	分類にデータが 利用できない、 あるいは不足し ている。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
水酸化鉄	20344-49-4	分類にデータが 利用できない、 あるいは不足し ている。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
シラン処理シリカ	68909-20-6	分類にデータが 利用できない、 あるいは不足し ている。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

主な法規制物質

法規名			
成分	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
C. I. ピグメントイエロー	192（酸化鉄）	該当なし	該当なし

16. その他の情報

改訂情報

セクション2：環境影響ステートメント 情報修正.
セクション2：GHS分類 情報修正.
セクション2：健康有害性 情報修正.
セクション2：物理化学的危険性のステートメント 情報修正.
セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正.
セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正.
セクション3：成分表 情報修正.
セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正.
セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
セクション9：沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正.
セクション9：発火点情報 情報修正.
セクション9：蒸発速度情報 情報修正.
セクション9：燃焼点（下限）情報 情報修正.
セクション9：燃焼点（上限）情報 情報修正.
セクション9：揮発分 情報修正.
セクション9：pH情報 情報修正.
セクション9：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション9：蒸気圧 情報修正.
セクション9：粘度 情報修正.
セクション9：水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報修正.
セクション9：揮発性有機化合物 情報修正.
セクション11：急性毒性の表 情報修正.
セクション11：生殖毒性の表 情報修正.
セクション11：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション12：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション14：IATA分類の標準フレーズ 情報の削除.
セクション14：IMO分類の見出し標準フレーズ 情報の削除.
セクション14：国連番号の標準フレーズ 情報の削除.
セクション15：法規名 - 表 情報修正.
セクション15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。